

第4回住民会議意見概要（総務部会）

日時：平成28年7月19日（火）19：10～21：05

場所：役場3階 庁議室

■基本計画案に関する意見

前回の議論を踏まえ、施策の展開について文章化した内容や職員からの指摘の確認、目標値の項目について以下のような意見がだされた。

まちづくり目標1：みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

1.情報の共有でひらかれたまち

- ・「(1) 住民と行政との情報共有の強化」の新たな情報発信のあり方をめざすという文章の主語が「広報はえばる」に限定されているので、「行政情報」とした方が良いと思う。
- ・「(3) 情報化の推進」の「LINE、twitter」の表現は、今後5年、10年と経過する中で、問題がおきて使われなくなっていたり、古い表現になる可能性もあるので、単語として表現するのが良いのか、「SNS」だけにするのか検討しても良いと思う。
- ・コミュニティFMやネット放送局については、議会でも質問があり、現状としては取り組みは考えていないと回答している。

⇒現状として、新たにコミュニティFMなどの取り組みは考えていないかもしれないが、今あるラジオの活用などの展開を行政内部で議論しても良いと思う。

⇒目標値を設定する上で、例えば、「広報誌の全戸配布」という目標の設定は可能か。

- ・広報誌については、配布方法が自治会によって異なる状況なので、全戸配布という目標設定は難しいと思う。

⇒自治会に未加入の方が、税金を払っているのに広報誌が届かないという苦情もあると思う。広報誌などの行政情報については、本来は全戸配布されなければならないものだと思うので、配布方法について、これまでの自治会での配布だけでなく、自治会未加入者への対応というのが求められていると思う。

- ・自治会によっては、未加入者へ配布しているところもあるが、取り組みは自治会によって様々なので、全戸配布を目指すには、新たな仕組みづくりが必要になると思う。

2.自ら考え、行動するまち

- ・「(3) 人材の積極的活用」の「元気なシルバー世代の多様な人材～」の表現は、シルバー人材センターのイメージになると思うが、町長がシルバー人材センターはつくらないということを議会で回答しているので、この表現はどうかと思う。

⇒ここで表現している元気なシルバーとは、名人制度などに登録している方をイメージしている。誤解を招きそうな表現であれば、修正を検討する。

3.みんなで作るまち

- ・ 現況・課題についての職員からの指摘は、主体的まちづくりが具現化されているとの意見であるが、この項目については、これで良いという終わりが無いもので、常に更なる向上を目指すべきところだと思うので、この現状・課題の文章は残すべきである。
- ・ 施策の展開の「(3) 協働のまちづくりの実践」の職員からの指摘についても同様で、現状・課題の文章と関連して整理されているところなので、残した方が良いと思う。

まちづくり目標5：みどりとまちが調和した安全・安心のまち

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

- ・ 主管課や関連課について、「(3) 減災のまちづくりへの取り組み」では、まちづくり振興課が主管課になっているが、防災に関しては総務課が主管課になるのが適切だと思う。

⇒これは、まだ案の段階なので、各課や各部で確認して頂いて、主管課と関連課は精査していきたい。

- ・ 安全・安心に暮らせるまちづくりとして、防災や防犯の面での施策の展開が書かれているが、子どもたちが遊んでいる状況が確認できる見え方や死角をなくすようなまちづくりなどが、普段の生活の中での見守りや安全・安心につながっていくと思うので、その辺の表現があっても良いと思う。

⇒普段のまちづくりから安全・安心へのアプローチが必要という事で、その辺を意図しているのが「(3) 減災のまちづくりへの取り組み」の1番目の文章として整理している。

まちづくり目標6：環境と共生する美しく住みよいまち

1. 生活に身近な環境への取り組み

- ・ 「公共施設における長寿命化の検討」について、今年度、公共施設等総合管理計画を策定予定である。
- ・ 建物の長寿命化に関連して、南風原団地の庇が落ちて建替えになっているところがあるが、あのような状況を防ぐには、防水塗装をすることが効果的なので、維持管理の方法として検討しても良いと思う。

2. 地域を越えた環境問題への取り組み

- ・ 「仮称：南風原地球温暖化実施計画区域施策編」という計画を町民や事業者に配って実践してもらうという事か。

⇒現在、公共施設における温室効果ガスの削減への取り組みを行っているが、それを町民や事業所へも広げていく1つの方法として、計画を策定し、計画の概要版やパンフレットで啓発活動を展開して、できることから取り組んでいこうという意図である。

また、第四次では町独自の認証制度などの施策が掲げられていたが、取組みとして難しいと思うので、できるところから着実に進めていこうということである。

- ・ Co2 削減の取組みとして、住宅への壁面緑化や屋上緑化などへの取組みを推奨したり、緑被率を目標値として設定することも良いと思う。
- ・ 住宅の敷地内に高木を植える費用を町が助成したら、手を挙げる人も多いと思う。自宅の敷地内をきれいに手入れしている人も多いので、何かのきっかけで取組みが広がると思う。

行財政計画

- ・ 現状・課題の広域行政に関する文章で、「南部広域市町村圏事務組合」という固有名詞があるが、団体名を記載するならば、そこよりも関連が深い団体名の方が良いと思う。もしくは、「近隣市町等」で良いと思う。

- ・ 「(3) 健全な財政運営の推進」の中で、「人件費の適正化」という表現があるが、第四次ではこの表現はないので、どのような意図があるのか。また、人件費の適正化を図る指標が様々あるので、何を以て適正なのかを判断するのが難しいと思う。

⇒この文章については、昨年度からの住民会議での意見やアンケートをはじめ「行政改革大綱」や「財政健全化計画」などを参考にして文章化した。人件費について、様々な指標があるのであれば、まずその全てを出して検証することも1つの取組みであり、町民ニーズへの対応につながると思う。

- ・ 「(5) 職員の人材育成」について、非正規職員の人材育成への取組みは難しいのではないか。非正規職員が負担に感じる面もあるのではないかと思う。

⇒この文章は、本町においても非正規職員の割合が正職員を上回っており、担う役割も重要になってきていることから、必要な施策ではないかという意図がある。今後、行政内部の部会等で精査し、改めて、住民会議に案を提示したいと思う。

- ・ 非正規職員が配属された各部署で、仕事をしながら育成するという取組みは行っていると思うが、研修期間などを設けて育成するという取組みについては様々な意見が出てくると思う。